

セッション8：地域研修・校内研修ワークショップ ワークシート

地域研修・校内研修案を考えましょう

3月10日(水)		大阪会場	(F)	グループ
地域研修・校内研修の概要				
1	目的	<p>情報モラルの指導力を全教職員に育成する。</p> <p>単に情報用語理解・法令理解・管理者スキルだけでなく、こうした知識をベースに生徒からの申し出を受けて精神面でのケアや対処アドバイス・関係機関への連絡を含めて対応を考え実施できる実践力を育成する。</p> <p>さらに、生徒の内面にも焦点を当て、生き方・生き様にも好影響を与えることができる指導力を育成する。</p>		
2	研修対象者	教職員		
3	研修種別	悉皆研修	希望研修	
4	回数・実施時期 (年間計画)	<p>年間10回(月約1回 1時間) 1・2学期中間考査(2回2時間)</p> <p>4月 小講座 1時間 情報用語理解</p> <p>5月 小講座 1時間 情報モラル関連法規理解</p> <p>6月 大講座 2時間 情報セキュリティ実習</p> <p>7月 小講座 1時間 事例研究1(悪口を書き込まれた生徒の場合)</p> <p>8月 中講座 1.5時間 事例研究2(前回の件でシミュレーション実習)</p> <p>9月 小講座 1時間 事例研究3(「携帯電話の持ち込み禁止を実施している学校の功罪について」ディベート実習)</p> <p>10月 大講座 2時間 教員の代表5名がそれぞれに情報モラルに関する題材を設定し、課題解決までの流れをシミュレーションして発表する)</p> <p>11月 小講座 1時間 講演「充実した人生を考える」岡山大学大学院准教授 梶依龍照 先生</p> <p>1月 小講座 1時間 生き方をテーマとしたLHRの成果報告</p> <p>2月 小講座 1時間 代表者の実践事例発表会・質疑応答</p>		
5	研修時間	計12.5時間		

6	具体的内容	事例研究		
7	教材	情報モラル指導者研修ハンドブック 情報モラル研修教材2005／体験から学ぶ		
8	研修形態	ディスカッション・ワークショップ		
9	1回の展開案 (具体的に記	120 分	研修内容・活動	資料等

	載)		<ul style="list-style-type: none">・「生徒から高額請求のメールが来たとの相談がよくある。」(対処法を考える。)・著作権研究(ディベート)「著作権を無視してアップロードされた YouTube の動画を閲覧することは悪いことではないのか」(ディベート)・「フィルタリングはどのような目的で設定されるべきか」(ディベート)・「高校生以下は携帯電話を持つべきではないのではないか」(ディベート)・「メールでいつでもコミュニケーションを求めることはいいこと？」(ディベート)・「いつもはいい子なのに、ネットワーク上では悪い子。どう指導する。」(対処法を考える)	
--	----	--	---	--